

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> 一般国道51号 <small>きたちばくふく</small> 北千葉拡幅	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 関東地方整備局
<b>起終点</b> 自：千葉県千葉市若葉区貝塚町 至：千葉県四街道市成山		<b>延長</b> 7.6 km
<b>事業概要</b> 一般国道51号は、千葉県の県庁所在地である千葉市から茨城県水戸市に至る延長約124kmの放射状に伸びる主要な幹線道路である。当該区間を整備することによって、千葉市域に集中する交通の混雑を緩和し交通の円滑化を図るとともに、成田空港への一般道ネットワークの機能を強化することを目的に計画されたものであり、延長7.6kmのバイパス及び現道拡幅事業である。		
S46年度事業化	S44年度都市計画決定 (S60年度変更)	S48年度用地着手
<b>全体事業費</b> 約236億円		<b>事業進捗率</b> 68%
<b>計画交通量</b> 43,900台/日		<b>供用済延長</b> 2.7km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 3.7 (残事業) 7.1	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 81/156億円 (事業費：51/126億円 維持管理費：30/30億円)
	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 577/577億円 (走行時間短縮便益：566/566億円 走行費用減少便益：2/2億円 交通事故減少便益：8/8億円)	<b>基準年</b> 平成16年度
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（第一種空港である成田国際空港へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（特定重要港湾である千葉港へのアクセス向上が見込まれる） 他8項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 北千葉拡幅は、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、佐原市長をはじめとする関係5市2町の首長で構成される一般国道51号整備促進期成同盟会より整備促進の要望（平成16年11月12日）を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 昭和53年に成田空港が開港し、国際貨物取扱量が増加、成田空港の拡張工事や周辺地域の小倉台、旭ヶ丘等の団地造成等により大型車混入率が増加し、混雑時旅行速度が低下している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在までに2.7km区間で4車線供用（一部2車線）しており、残る4.9km区間を引き続き事業中。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 千葉市区間については平成19年度の完成供用、四街道市区間については平成17年度都市計画決定、平成22年度供用予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 建設発生土の有効利用や新技術・新工法の積極的な活用によって、コスト縮減に努めて事業を進める。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		

( 1 ) 事業全体の費用分析は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。  
総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。